

②⑤外来種駆除普及啓発事業(仮称)

環境部自然保護課

開催時期(予定): 令和4年秋頃

参加者(見込): 1,000人

<50周年記念事業のテーマ>

3 事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、恒久平和を願い、喜びを分かち合うユイマールの思いを大切にする、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。

【事業の内容等】

沖縄島北部・西表島が世界自然遺産に登録されその価値が国際的にも認められたように、本県の自然環境は希少な固有種が数多く生息・生育する生物多様性に富んだ地域であるものの、グリーンアノールやツルヒヨドリなどの外来種の定着が確認され、在来の固有種の減少・絶滅や生態系への被害が危惧される。沖縄の生物多様性の重要性を見つめ直し、外来種対策の必要性についてより理解を深め、県民一丸となり外来種の侵入・拡散を継続的に食い止め生態系を保全していくため、外来種に関するシンポジウムを開催するほか、「外来種バスターズ」を結成し、グリーンアノールやツルヒヨドリなどの駆除を広く県民に呼びかけ、世界自然遺産登録地や身近な環境に潜む外来種の駆除等を行う。

【50周年記念事業に位置づける意義及び成果】

令和3年に沖縄島北部・西表島が世界遺産に登録されたこと及び復帰50周年を迎えることを契機に、本事業を通して、本県が有する生物多様性の豊かさを改めて認識し、県民自ら外来種駆除に取り組むことで、本県の自然環境を保全し、次世代に継承することで、SDGsの「14陸域の豊かさを守ろう」を推進することができる。

○外来種に関するシンポジウムの開催

- ・沖縄県の生物多様性や希少野生生物の現状
- ・外来種の脅威と、駆除の必要性

○ツルヒヨドリの脅威

繁殖力、拡散力が強く、成長も早い 在来の植物を覆い枯らす



他の植物を覆うように繁茂する



綿毛のついた種子が飛散

○外来種バスターズ(仮称)

- ・外来種駆除体験、駆除状況見学
- ・外来種とともに捕獲される在来種救助

○グリーンアノールの脅威

- ・口が大きく大きな昆虫類も補食
- ・在来生物の餌や生息地を奪う
- ・繁殖力が強い



在来生物の減少・絶滅
沖縄の生態系への被害

